

令和4年度病害虫発生予察注意報第2号

令和4年6月3日
愛知県

作物名：ブドウ
病害虫名：黒とう病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 予想発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) 5月下旬に県内18ほ場で行った巡回調査において、発病新梢率が2.72%（平年0.31%、前年0.39%）、発生ほ場率が44.4%（平年8.9%、前年16.7%）といずれも**過去10年と比較して最も高かった（図1）**。

(2) 6月2日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想され、本病の発病に好適な条件が続く。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発病部位（図2）は伝染源となるので、園外に持ち出す等、適切に処分する。
- (2) **シャインマスカット**など、本病に弱い品種は特に注意する。
- (3) 発病を確認したら、農薬（表）により早急に防除を徹底する。なお、農薬によっては、幼果期以降の散布で果粉の溶脱や果実の汚れ等を生じることがあるので注意する。
- (4) 本病は、雨水によって感染するため、**降雨の前に予防散布に努める**。
- (5) 柔らかい葉は本病に感染しやすいため、若木など遅伸びした新梢や、徒長枝にも十分農薬がかかるように防除する。

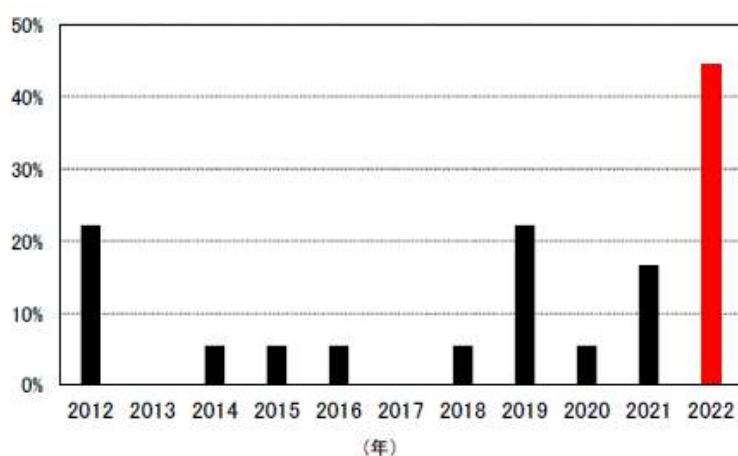


図1 5月下旬におけるブドウ黒とう病の発生ほ場率
県内9地点18ほ場で調査



図2 ブドウ黒とう病発病葉

表 ブドウ黒とう病に対する主な防除薬剤

薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	FRACコード
マネージDF	イミベンコナゾール	収穫21日前まで	3回以内	3
フルーツセイバー	ペンチオピラド	収穫7日前まで	3回以内	7
オンリーワンフロアブル	テブコナゾール	収穫前日まで	3回以内	3
カナメフロアブル	インピルフルキサム	収穫前日まで	3回以内	7
スクレアフロアブル	マンデストロピン	収穫前日まで	3回以内	11

成分ごとの総使用回数に注意する。

FRAC コードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRAC コードの詳細は https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2021.pdf を参照する。

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 (内線471)